

# 国土交通省 国土技術政策総合研究所

National Institute for Land and Infrastructure Management

## 採用案内 (港湾・空港分野)

## － 国総研(横須賀)の採用について －

以下に記載のない項目については、採用ホームページをご覧ください。お問い合わせ先にお尋ねください。説明会も随時開催しています。  
(採用ホームページ：<https://www.ysk.nilim.go.jp/koubo/koubo.html>)



### ○ 待遇等

- ・勤務地 : 神奈川県横須賀市
- ・勤務日 : 月～金曜日 (完全週休二日制)
- ・勤務時間 : 8:30～17:15 (フレックス制度あり)
- ・初任給 : 行政職 259,840円、研究職 267,232円

※ 新規学卒者の場合 (令和8年4月時点)

※このほか、通勤手当、超過勤務手当、扶養手当、住宅手当、  
期末・勤勉手当など

- ・休日・休暇 : 年次休暇 (初年度15日、翌年より20日)  
特別休暇 (結婚休暇、夏期休暇、出産・介護休暇など)
- ・宿舎 : 横須賀市内・横浜市内に国家公務員宿舎あり

### ○ 採用の流れ

- ・国総研の職員になるためには、まずは国家公務員採用試験一般職 (大卒程度) (※1)に合格する必要があります。
- ・試験合格者 (※2)を対象に、官庁訪問・採用面接等を実施し、採用者を決定します。

(※1) 対象区分は、「デジタル・電気・電子」「機械」「土木」「建築」「物理」「化学」「農学」「農業農村工学」「林学」を予定しています。

(※2) 大卒程度試験は合格後5年間有効です。

### ○ アクセス 〒239-0826 神奈川県横須賀市長瀬3-1-1



- ・京急久里浜駅東口②番乗り場  
千代ヶ崎行 または 浦賀行  
> 「外島」下車徒歩1分  
野比海岸行  
> 「開国橋」下車徒歩5分

#### 【お問い合わせ先】

管理調整部 管理課 人事係

・TEL : 046-844-5075

・Mail : [ysk.nil-saiyo@mlit.go.jp](mailto:ysk.nil-saiyo@mlit.go.jp)

社会の「これから」をつくる研究所

# 「国総研」

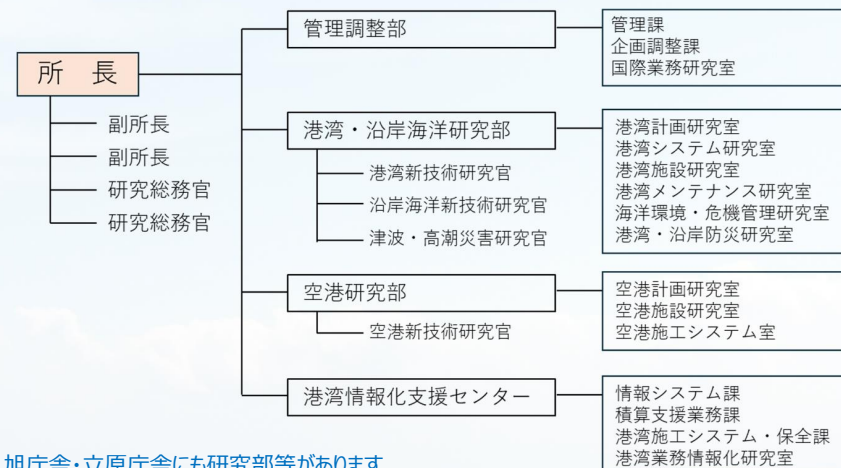
住宅・社会資本分野における唯一の国の研究機関として、  
技術を原動力に、現在そして将来にわたって安全・安心で、  
活力と魅力ある国土と社会の実現を目指しています。

開国の端緒となった「久里浜」にある横須賀庁舎では、物流と人流  
を支える港湾・空港分野に関する研究、政策支援を行っています。

——人の暮らしを支える技術の現場で働いてみませんか？

## ■ 組織図 (横須賀庁舎関係)

※令和8年4月現在



上記の他、旭庁舎・立原庁舎にも研究部等があります。



### — Contents —

- 港湾・沿岸海洋分野 …… 03
- 空港分野 …… 05
- 事業支援・管理運営部門 …… 06
- 国総研 (横須賀) の採用 …… 07

# 一港湾・沿岸海洋分野一



横浜港に着岸するコンテナ船

港湾は、貿易や国内物流、人流を支える拠点インフラであり、我が国の経済や国民生活を支える社会的な役割を担っています。  
 今後も港湾がその役割を果たしていけるよう、国内外の物流動向等の分析、台風や地震・津波等の災害リスクに対する安全・安心の確保、沿岸環境の保全、港湾工事の生産性向上等に関する研究を行っています。

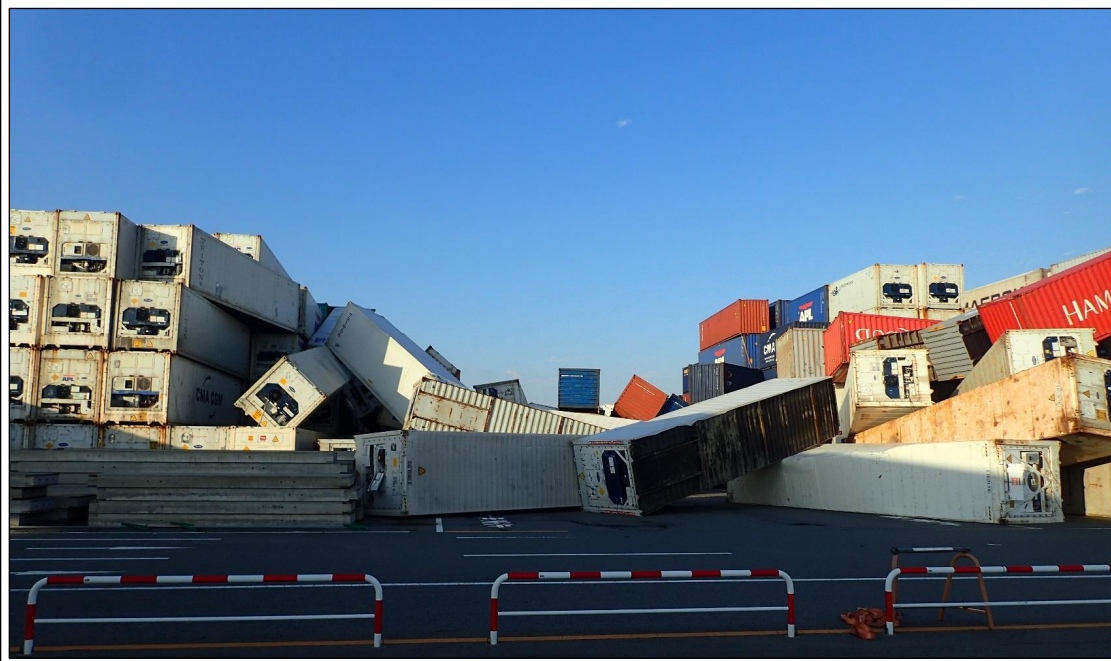


令和6年能登半島地震における被災状況調査（七尾港）

## － 港湾施設研究室 －

**次世代の港湾の基準をつくり、  
 災害時の迅速な復旧を支援する**

気候変動による災害外力の増加や変化する社会的ニーズを踏まえた港湾施設の設計法の研究開発を行っています。研究成果は技術基準として全国の港湾工事で利用されます。  
 また、地震等の災害が発生した際には、技術的専門家として港湾施設の利用可否判断等の支援を行います。



2018年台風21号の強風によるコンテナ倒壊被害（大阪港）

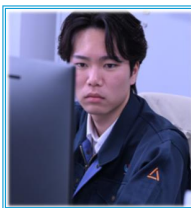
## － 海洋環境・危機管理研究室 －

**安心して人々が楽しみ、生物が多様で  
 豊かで親しみやすい沿岸域を創出する**

港湾、沿岸域での持続的で豊かな生物の環境を実現するため、生物が共生した港湾構造物について研究しています。  
 また、港湾空間における生態系の保全と脱炭素化の両面から、ブルーインフラの広域的な環境への効果に関する研究や、港湾整備に伴い発生した土砂を活用した干潟・藻場の造成を通じた炭素貯留の検討を行っています。



海藻が繁茂した港湾構造物



曾木 清雅（港湾情報化支援センター 港湾業務情報化研究室）

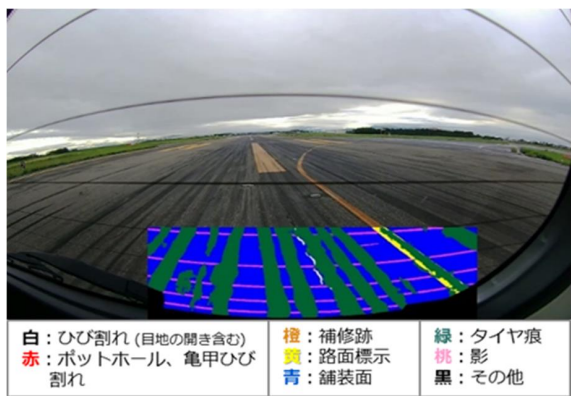
私は、物流や防災を支える港湾分野において、生産性向上を目的としたBIM/CIMなどのi-Constructionの推進に関する調査研究に取り組んでいます。今まさに普及期を迎えている技術の最前線に立ち、国の研究者として制度や現場につながる研究に携われていることに大きなやりがいを感じながら、毎日楽しく業務に取り組んでいます。

# -空港分野-

わが国の国際競争力の強化、国内空港の利活用の促進、空港安全性の向上及び施設の効果的な整備や維持管理の実現に資するため、空港の整備や運用効率化に係る空港計画手法、空港施設の調査、設計、積算、施工、維持管理、関連するシステム開発などについて研究しています。



空港除雪の自動化・省力化



白：ひび割れ (目地の開き含む)	橙：補修跡	緑：タイヤ痕
赤：ポットホール、亀甲ひび割れ	黄：路面標示	桃：影
	青：舗装面	黒：その他

AIによる路面検知解析の実証試験

## - 空港施工システム室 -

**空港分野の生産性向上を推進し、  
安心して安全な空港を守り続ける**

空港の整備や維持管理を担う建設業では、就業者数の減少や高齢化が進み、生産性向上の推進が急務となっています。

インフラメンテナンスの高度化・効率化や、効率的な施工の実現に向けた技術の開発・実装の取組を行っています。

### 荒井 淳希 (空港研究部 空港施設研究室)

空港舗装の構造設計に関する研究を担当しています。国土交通省の業務は幅広い分野に及びますが、空港土木施設の研究業務を経験できるのは、国土技術政策総合研究所横須賀庁舎しかなく、研究成果が実構造物に反映されたとき、大きなやりがいを感じます。また、職場にはフレックスタイム制度が定着しており、研究と子育ての両立など、ワークライフバランスを大切にしながら働くことができます。

# -事業支援・管理運営部門-

国総研では、将来の港湾分野全体のDXを見据えて、情報システムの構築、改修、運用支援を行い、早期の安定運用を目指して、支援業務を推進しています。また、国総研横須賀庁舎において実施される研究業務が円滑に推進するために必要な支援業務を行っています。

## - 情報システム課 -

**港湾分野全体をシステムから支える**

港湾における業務・手続き・調査・インフラ等のデータを体系的に取扱う「サイバーポート」をはじめ、港湾の整備・運用・維持管理といった各種業務を、システム開発・運用管理の面から支えています。



Cyber Port (港湾インフラ分野)

## - 管理課・企画調整課 -

**研究所の方針を担い、根幹を支える**

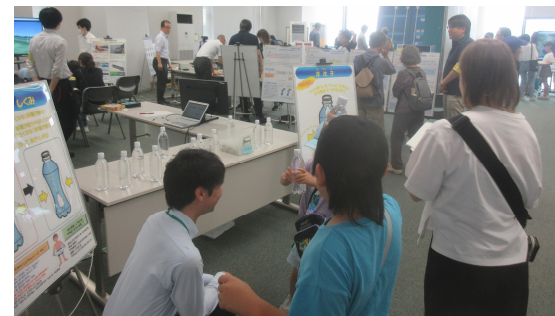
管理課では、国総研の会計手続きや人事・福利厚生、研究に必要な調査業務の入札契約等を担い、研究所の業務の根幹を支えています。

企画調整課では、国総研の研究に必要な予算の要求や配分をはじめ、研究評価や計画検討のための会議運営、庁舎や実験施設の維持管理といった業務を通じて、円滑に研究活動をサポートしています。

また、視察対応やイベント運営、高校での講義といった所外広報等を通じて、国総研の研究を幅広く知ってもらい、国総研と社会をつなぐ活動を行っています。



実験施設 (台風防災実験水路)



一般公開イベントの開催

### 尾崎 睦 (港湾情報化支援センター 積算支援業務課)

私は、港湾工事や業務の発注金額の根拠となる「積算基準」の策定及び改定に携わっています。発注金額に直結するため責任は大きいですが、その分社会への影響も大きく、やりがいを実感できる仕事です。正確さと公平性を大切にしながら、日々充実感を持って業務に取り組んでいます。